

平成28年度地域福祉チャレンジ活動新規助成対象候補活動概要

1. 住民総出で耕し育てる農場による地域コミュニティ再生事業

仮認定特定非営利活動法人つどい (滋賀県長浜市)

仮認定特定非営利活動法人つどいは、滋賀県長浜市を活動拠点とし、介護事業を主たる収益源としながら農業などを通じ多世代が交流できる場や地域づくりに注力している法人である。「地域福祉チャレンジ活動助成」では高齢者や障害者、引きこもり、育児期女性などの就労が困難な人たちに対し農業就労を通じた生きがいの場を提供し、多世代が関わる地域コミュニティの再構築を目的とする。

活動内容は当法人が借り受けた耕作放棄地を活用し、農作物の作付や収穫などを就労が困難な人たちに委託する。収穫した農作物は販売や加工を行い、小売りや卸などを通じて収益化し、就労者に賃金を支払う仕組みを創る。

そのために障害者の就労支援を行っている NPO 法人と連携し、求人などを担当してもらうほか、個々の特性に応じた支援の方法などを共有する。また地元の料理店や地域の任意団体などとも協働し事業化を促進することで、事業を循環させ、地域に新しい就労の場と農業を通じたコミュニティが持続していくシステムを構築していく。

2. つながりと社会参加を意識した健康なまちづくり

特定非営利活動法人うすだ美図(長野県佐久市)

NPO 法人うすだ美図は臼田地区の有志が設立した NPO 法人で、長野県厚生連と共同でうすだ健康活動サポートセンター(平成 28 年 10 月開設)の指定管理者となる。この施設では「つながりと社会参加で健康なまちづくりへ」を理念として各種教室の開催や健康カフェ、運動スタジオ、健康相談が実施される。

「地域福祉チャレンジ活動助成」では、地域で各団体や住民により開催されているサロン活動に参画し、共同で取り組みを進めるような「アウトリーチ活動」を展開する。医療や介護や行政などのフォーマルなネットワークだけでなく、NPO や地域住民を主体としたインフォーマルなネットワークともつながり、人と人をつなげて、社会参加を促すような活動を行っていく。

そのためには、行政、佐久総合病院、区長、民生児童委員、商工会、介護事業所など地域の様々な団体が構成員となる会議体の定期開催、地域づくりや防災など地域包括ケアの基礎データ構築のための臼田地区の悉皆調査、異なるコミュニティに属する人たちが自然に集える「マルシェ型」イベントなども実行していく。

3. 高齢者の生活支援・就労支援等多機能サービスシステムの構築

和歌山高齢者生活協同組合 (和歌山県和歌山市)

日常的に高齢者・障害者の生活全般の課題に取り組んでいるとともに、“支え・支えられるまちづくり”のために地域貢献活動も行っている非営利団体である。

「地域福祉チャレンジ活動助成」では、日常の買物や生活上の困難等を抱えている独居高齢者や高齢者夫婦・中山間地域の高齢者世帯を対象に、低料金で利用できる買物代行や病院等への付き添い支援の実施。認知症の人や家族の支援として、認知症の人やその家族・知人、医療やケアの専門職の人達が気軽に集まり、相談できる場として認知症カフェを設置する。そして現役は退いたが、心身とも元気で緩やかな就労(生きがい就労)を要望する高齢者が多数いる一方、活動地域は農村地帯であり小規模高齢者農家が多く、担い手不足の現状から、生きがい就労として、農業支援、農産加工、直売所等6次産業化を推進し、地域社会と経済面でも繋がりのあるシステムを構築していくこととする。

4. 空家と休耕田を再利用した百寿者のコミュニティサロンづくり

一般社団法人 徳之島百寿者創生会 (鹿児島県伊仙町)

100歳まで自立し、人の役に立てる元気な高齢者である百寿者100人づくりを目標に徳之島の豊かな自然を活用した健康長寿につながる活動を展開していく。

具体的には、百寿者用コミュニティサロンの設置、休耕田を活用した健康野菜栽培と販売、長寿食レシピの作成と料理教室、自然流新健康長寿運動を実施していくが、「地域福祉チャレンジ活動助成」では特に、百寿者倶楽部を設立し、4か所の空家を確保し、75歳以上の単身男女4人、計16名が共助生活を行うことにより、認知症、うつ、閉じこもりの予防につなげていくことに注力していく。

「百寿者百人創生活動」の展開により、“葉いらず”“医者いらず”“金いらず”の高齢者が増え、徳之島の医療費、介護費が軽減されていくことが期待できる。